

同窓会だより

リ・ユニオン報告・会長挨拶	1頁
総会・リ・ユニオン報告	2. 3頁
喜寿・古稀・還暦	4頁
中高・大学祭、ホームカミングデー	5頁
同窓会	6頁
オビリンナーの輪	8. 9頁
ひろば・同窓会	11. 12頁
同窓会	13頁
清水安三先生の論説	14頁
伊豆高原クラブ、編集後記	16頁

発行 / 桜美林学園同窓会 〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
 発行日 / 平成27年12月5日 電話 (042) 797-1632
 http://www.obirin.jp/alumni/ E-mail: alumni@obirin.ac.jp
 (印刷 (株)サン・メールサービス) 振替 00120-5-41288

2015年 同窓会総会 & リ・ユニオン 喜寿・古稀・還暦祝い礼拝 同時開催報告



A 喜寿・古稀・還暦の祝い礼拝 **B** 総会の挨拶 **C** 還暦を迎えられた皆様 **D** リ・ユニオンにご出席の先生方

◇ 同窓会会長挨拶 ◇

佐藤誠一郎 (70高)

2014年度桜美林学園同窓会総会において会長に選任された佐藤誠一郎でございます。6月27日に2015年度の総会が行われ、任期も2年目を迎えました。

桜美林学園同窓生は、今年3月の卒業生が新たに仲間入りし、のべ総数100,088名、ついに10万名を突破いたしました。現在学園では約1万名の学生達が学び、その数は来年大学で新たにスタートするグローバル・コミュニケーション学群の開設により更に増えることとなります。そして同窓生、在校生合わせ11万名を超えるオビリンナーの活躍の場は、日本全国はもとより今や世界各地へと広がっております。

年々増え続け、多岐に渡り活躍する同窓生を預かる同窓会として、私は組織力を上げることに主眼をおき、オビリンナー同士のネットワークが築けるよう体制を整えていきたいと考えています。学部、学年、クラブ単位や職域など各集まりの名簿整理を進めると共に、その集まりへ積極的に働きかけ、同窓会と各団体、並びに各団体同士が互いに連携を取り一致団結して学園を応援する機会も作りたいと思っています。

またもう一つの目標として挙げている同窓会館の開設に向け、具

体的な計画に入りたいと考えています。学園で青春を過ごした同窓生たちが、足を踏み入れると各々の時代の懐かしい風景に再会できる、そんな同窓会館を目指し努力致します。

2021年、学園は創立者清水安三先生が中国北京の朝陽門外に崇貞工読女学校(後の崇貞学園)設立してから数えて100周年を迎えます。積み重ねてきた歴史を大切に、そしてグローバル化する社会に対応する教育を掲げ大きく成長している学園を応援しながら、同窓会の一層の発展に努めたいと思います。

今後とも同窓生の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

2015年度事業計画

1. 「総会&リ・ユニオン」
「喜寿・古稀・還暦祝い礼拝」
開催日：6月27日(土)
礼拝：荊冠堂チャペル
茶話会：桜カフェ
2. 中高文化祭に参加
開催日：9月19日(土)
OBIRINGグッズの販売
3. 大学祭に参加
開催日：11月1日(日)
同窓会事務局前にて
緑茶無料サービス
4. 「成人祝い礼拝」茶話会開催
開催日：2016年1月11日

5. 支部設立の拡大、及び支部継続の支援活動
機関紙「同窓会だより」第193、194号の発行
(年2回4月・12月発行予定)
6. クラス会、学年会、OB会等の開催支援
特別会費の納入のお願い
(対象：1984年、1994年、2004年度卒業生)
7. 新卒業生、並びに修了生への記念品贈呈(高校生は証書人、大学生以上はボールペン)
書籍の販売、及び贈呈
会員住所の整理及び管理
その他の同窓会の目的達成のための事業
8. 12. 11. 10.

I 2014年度一般収支決算報告 (2015年3月31日)

1. 収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減
2014年度卒業生会費収入中・高校	3,360,000	3,322,000	38,000
2014年度卒業生会費収入大学	20,680,000	20,220,000	460,000
2014年度卒業生会費収入大学院	1,600,000	1,270,000	330,000
特別会費収入	150,000	258,000	△108,000
利息収入	60,000	62,159	△2,159
誌代収入	150,000	213,910	△63,910
雑収入	25,000	1,082	23,918
会費収入	300,000	385,000	△85,000
当年度収入合計	26,325,000	25,732,151	592,849
前年度繰越金	1,685,841	1,685,841	0
合計	28,010,841	27,417,992	592,849

2. 支出の部

科目	予算	決算	増減
印刷費支出	6,600,000	6,571,374	28,626
発送費支出	6,930,000	6,960,337	△30,337
広報取材費支出	100,000	18,169	81,831
行事費支出	1,500,000	1,183,427	316,573
支部活動費支出	1,470,000	796,076	673,924
級会補助費支出	400,000	384,462	15,538
記念品費支出	1,600,000	1,386,504	213,496
特別委員会費支出	200,000	0	200,000
会議費支出	200,000	220,372	△20,372
事務用品費支出	200,000	204,169	△4,169
通信費支出	250,000	249,564	436
旅費交通費支出	800,000	594,200	205,800
備品費支出	100,000	0	100,000
人件費支出	3,500,000	3,518,689	△18,689
雑費支出	200,000	146,969	53,031
予備費支出	1,460,841	337,718	1,123,123
同窓会館建設積立金	1,500,000	1,500,000	0
財政調整基金	1,000,000	1,000,000	0
当年度支出合計	28,010,841	25,072,030	2,938,811
次年度繰越金	0	2,345,962	△2,345,962
合計	28,010,841	27,417,992	592,849

II 同窓会館建設積立金

科目	予算	決算	増減
同窓会一般会計より繰入	1,500,000	1,500,000	0
前年度繰越金	106,500,000	106,500,000	0
合計	108,000,000	108,000,000	0

III 財政調整基金

科目	予算	決算	増減
同窓会一般会計より繰入	1,000,000	1,000,000	0
前年度繰越金	27,000,000	27,000,000	0
合計	28,000,000	28,000,000	0

I 一般収支決算	2,345,962
II 同窓会館建設積立金	108,000,000
III 財政調整基金	28,000,000
前年度繰越金	138,345,962

監査の結果以上の通り相違ないことを認めます。
2015年4月11日 会計監査:

錦織達也
大野壽一

2016年同窓会行事

予定について

同窓会では、これまで5年おきに周年行事として総会&リ・ユニオンを、学園外の施設(都内ホテル)で行ってまいりました。2016年は崇貞より95周年という記念すべき年になります。その先には100周年が2021年にやってくるというところで、来る100周年に向けて、大々的に記念行事を企画していく予定です。

つきましては、95周年は、100周年を迎える良きスタート地点として、しっかりと足もとを固めていくため、学園内部で皆様をお迎えたいと考えております。

今年、同時開催をした「喜寿・古希・還暦祝い礼拝」はこれまで通り、昔行われていた創立記念日を祝う「桜まつり」の時期(4月23日(土))を行う予定です。その後、日を改めて、総会およびリ・ユニオンを行います。

同窓生の皆様には、100周年に際して同窓会の思いをご理解いただき、様々な企画にご参加いただきたいと思います。



2016年はどんな年?

- 崇貞学園設立より95周年(1921年)
 - 桜美林学園開校より70周年(1946年)
 - 大学文学部設立50年(1966年)
 - 夏の甲子園優勝より40年(1976年)
- 学園にとって、それぞれ記念の年になります。
- *運動部など周年行事をご予定の団体は、同窓会へご一報を。開催に関しての通信費を援助いたします。

リ・ユニオンに参加して

伊崎 俊介(73高校)

私は、中学・高校と6年間にわたり桜美林学園で過ごしました。今回「喜寿・古稀・還暦礼拝に参加しよう」とクラス同窓会で話になり、久しぶりに学園を訪れ、お世話になった先生や他のクラスの旧友とも会うことが出来ました。子供のころの仲間は、単なる旧友ではなく兄弟みたいな感じですね。昭和47年双子だった私と弟は春の甲子園に参加しました。残念な



がら弟は選手として、私はアルプススタンドで「フレー・フレー」のコールをきった応援団員としてですが・・・今でも、その野球部のメンバーは毎年1月(もう35年以上)、野球部同窓会をしています。



久しぶりに学園を訪れ仲間と学園の中を散策しました。体育館は卒業した42年前の当時のままでした。「清水安三先生のお話しがあるときは、とにかく話が長いので前の日から水分カットして、途中でおしっこにいかないよう頑張った」また「礼拝堂の横、昔は保健室だったよな!」「高校の正門の跡が残っている!」など話ながら散策しました。

42年ぶりに礼拝に出席し讃美歌を歌いましたが、6年間歌った讃美歌は覚えていたものですね。学校は卒業後ほとんど大きくなり、今や在学中とは違い「進学校」となっているようですが、12歳から18歳の多感な頃に過ごした私の思い出はすくなく「LAT HOMEな学校」です。高校は1学年350人近くもいたのですが、それでも先生は一人ひとりの生徒に対して愛情を注いでいたと覚えています。とりあえず「行けば、ほっとする学校」でした。



年数が過ぎても校風が変わることとは無いと思います。ぜひその思いは変わらぬように学校の運営をしていってください。

今回、リ・ユニオンやその後の懇親会などで現役の先生や生徒の方々のお世話になりました。また同窓会をお世話しているOBのスタッフの皆様もありがとうございました。Hospitalityを感じて、「ほっとして」2次会に行くことができました。

リ・ユニオンに参加して

安倍ちよ美(03大経)

平成27年6月27日土曜日、喜寿・古稀・還暦祝礼拝並びに同窓会に出席させていただきありがとうございました。

約12年ぶりに学園を訪れ、懐かしく、色々な年齢層の方とお話しもする事ができ、楽しいひと時を過ごす事ができました。楽しみにしていた恩師の先生、岩井元副学長とお会いする事ができて、とても嬉しかったです。また、厚かましくも佐藤理事長ともお会いできお話しをして頂き嬉しかったです。大学の卒業式以来でしたので、母校はやはり温かさを感じました。新しく変化された校舎は、さらなる活躍を期待致します。

また、このような集まる機会がありましたら、集めたいと思います。



お手伝い参加をして下さった大学祭実行委員の学生さん、有難うございました。

古稀の祝い礼拝に

参加して

原島 百世 (63高校)

高校の三年間を桜美林ですごし、聖歌隊で大好きな讃美歌をうたい大切な友人との出会いもここ桜美林でした。母校からのお便りで、この頃体調も悪く出席するのをためらっている、二年先輩の姉が二年前に参加したらととても楽しかったわよ...という声に押し入れ申し込む事にしました。

卒業後は岡村先生のクラスで教育実習のお世話になり、その後も数回訪れていましたが、久しぶりの母校に胸が熱くなり、自然に礼拝での安三先生がおっしゃったことば「一世の中に種をまく、安易にイエスと言わない。勇気を出してノーと言いなさい。」等沢山のこ とばを思い出しながら古稀の祝い礼拝に臨みました。



写真撮影の後、場所を替えて懇

親会、どなたとお会い出来るかなと楽しみにしておりましたら、なんと私達古稀の席には男子二名、女子は私を含めて三名というさびしさ、福島県いわき市からははるばる三時間もかけて来たM君には気の毒で、さらに同窓会をいつも盛り上げてくれたF君の訃報に心が沈みそうになりました。その時、川崎から来た旧姓Mさんが突然

「私二回も大病をして今も足が痛くて週二回の注射をしているの。今日をとつても楽しみにしていたのよ」と言うのです。彼女は中学から短大迄八年間を桜美林ですごしたとのこと。まるで桜美林の生き字引きね。などと言いなながら私達の知らなかった事、面白かった事など話題が豊富で私のさつき迄の不安が吹きとんでしまいました。クラスが皆違うので知らなかった事、あの人、この人、寮での

珍事など面白おかしく会話がはずみました。

八十才半ばの神山先生、白衣を着たら五十年前と同じ、音楽でお世話になった桜井先生もいつも若々しく、お二人の先生とも沢山お話を出来て人数が少ないのも悪くないな...と思えました。

最後に輪になって校歌をうたい淵野辺駅迄スクールバスで送っていただき、私はもうこれで桜美林には来ることはないのかな...と心の中で思っていました。ホームで別れる時突然Mさんが私絶対七年後の喜寿には来るわよ!と言うのです。思わず私達もこよう!こよう!と言いまいました。今度はもつと皆に声を掛けてね。と言いな がら散会となりました。企画を下さった関係者の皆様とっても楽しい会でした。ありがとうございました。



喜寿・古稀・還暦

祝い礼拝に参加して

細川 金男 (77大英)

大学を卒業後、毎年のようにリ・ユニオンのご案内をいただいでおりながら、忙しいことを理由にこれまで一度も出席することなく還暦、そして定年退職を迎えることになりました。これを機に、37年ぶりに母校を訪れました。キャンパスは当時とは大きく様変わりし、通りがかった学生さんにお聞きしながら会場である荊冠堂チャペルにたどりつきました。

素晴らしい音色のパイプオルガンによる前奏で始まった「喜寿・古稀・還暦祝い礼拝」は人生の節目を迎えた私にとって心に染み入

るものでした。そして、次第の最後に理事長であられる佐藤先生から祝辞をいただいたときには、昔と変わらない先生のソフトで温かみのあるお声に学生時代が蘇り、大変お世話になった数多くの先生方が思い出されました。また、その後の桜カフェでの懇親会でも級友との卒業以来の再会となり、母校の古き懐かしい時代が蘇った一日でした。



喜寿・古稀・還暦祝い礼拝

礼拝の席上献金

74,373円は

学園の為に捧げられました。ご協力有難うございました。



桜美林中高文化祭 に参加して

9月19日、同窓会が桜美林グッズの販売を開始する頃には、お天気に恵まれて、たくさんのお生徒の家族や受験希望者が中学校舎の昇降口をめざして、入場してきました。夜桜と大きな幕が、吹きぬけに飾られているその下では、ハンドベルの演奏や、合唱部の歌声が響いていました。バザー会場では、制服のお下りを探す方や、クリスマス用品を選ぶ方で混み合っていましたし、500円で買える抽選券も好評でした。アリーナでは、毎年盛り上がるダンス部やチアアの演技を見るために立ち見も出ているほどでした。



今年、大学の駅伝部が箱根の予選に出場するのも2回目ということで、中高の文化祭においても、同窓会として、オールオピリンと

いう立場で中高関係者に応援をしてほしいとアピールさせていたいただきました。これには多くの卒業生や保護者が関心を持って、ポスターなど見てくださったようです。お蔭様で、売上金も昨年を上回って11万410円となり、全額を「中高講堂建設資金」に寄付いたしました。

桜美林大学祭 に参加して

「桜輪(はなまる)」をテーマに開催された第49回桜美林大学祭。今年一般学生の参加が例年より少なかったように思いましたが、逆に内容の充実を感じ取ることができました。模擬店の呼び込みには、ハロウィンの時期とも重なって、仮装やフェイスペイントの学生がキャンパス内を歩き回り、お祭り気分を盛り上げていました。



けやき広場と理科学館前の二ヶ所に設営されたステージでは、ミ



ス・ミスターコンテストをはじめ、お笑いライブや音楽団体の発表などが行われ、学生や保護者の方々がごったがえしていました。

学而館では、昨年朝日新聞でも紹介され今、人気の雛菊亭ちづるさんら落研の公演もありました。

また、バス停横には町田市の忠生地区協議会の方々が現役学生たちとともに、地域活性化プロジェクトブースを出展。地域で行われるいろいろなイベント活動内容を紹介します。町田市民に文化的貢献を行っている大学生の様子も紹介されました。

明々館の1階では桜美林大学後援会が「桜の園の出身地からうまいもんフェア」と銘打って、全国からおよそ80種類のおいしい商品販売を実施。保護者の方々の熱い思いを感じました。同窓会横浜支部による本場広島のお好み焼きも長蛇の列。早々に売り切れ、店じまいとなったようです。

同窓会では、清水安三先生と郁子先生のパネルを入口に飾り、同窓生をお出迎えいたしました。室内ではお茶のサービスを実施、懐かしいアルバムを手にされたり、同窓会だよりを読み直したり、みなさんにゆつくりと過ごしていただけたと思います。

久しぶりに学園を訪れたという同窓生は「建物が増えてびっくりしました。エイサーを見学しましたが本格的で充分見応えが有り楽しめました。一方、自分の所属していたクラブの活動も学部もななく、還る場所がない感覚にさみしさを覚えました。」と語っておりました。

2015・6回目の ホームカミングデー

11月1日、大学祭の最中に毎年行われているホームカミングデーも今年で6回目を迎えました。新



さるびあ亭かーこ氏 栗谷川柳子氏



荆冠堂にて、短大家政科卒業の紙芝居師・さるびあ亭かーこさんの司会で、第1部オープニングセレモニーが始まりました。学園キリスト教センターの土橋牧師の祈禱に続き、三谷学長の「グローバル化」が叫ばれて久しい昨今、世界の大学が置かれている状況と2016年度に新設される「グローバルコミュニケーション学群」についての説明があり、同窓会佐藤会長からは、来年の大学創設50周年・学園設立95周年に向かって、同窓会では、学園の教育充実のためのサポートをして、一層の発展に寄与したいとの熱い発言がありました。その後、学園歌を大学クワイアへの先導で全員が歌い、第1部を終了しました。

第2部は、短大英語英米文学科卒業で『ノースビレッジ合同会社』代表の栗谷川柳子氏を迎えて、今年1月に東北ニュービジネス協議会「ソーシヤルアントレプレナー

大賞」を受賞されるまでの、氏の積み重ねてきた経験、体験などを伺いました。男性社長はこれまでも卒業生の中に、多々いらつしやいました。女性の代表はなかなかいらつしやいません。今後も女性卒業生の活躍を期待したいと思えます。

地階のウエルカムパーティ会場での懇親会では、副学長の畑山先生から乾杯の挨拶をいただき、参加者はおいしい料理に舌鼓を打ちながら、あちらこちらで、懐かしい先生方との会話に花を咲かせていました。

桜美林大学

スポーツフェスタ 2015

大学祭と同時開催の桜美林大学スポーツフェスタ2015。「大人も子どもも楽しめるスポーツプログラム」をコンセプトに今回で3回目を迎えました。

普段は足を踏み入れることのない人工芝の桜グラウンドを会場に、強化クラブに指定されているスポーツ部員が、子どもたちを指導します。

毎年4〜5種目のプログラムを提供していますが、今年は野球・バレーボール・フライングフットボール・チアダンスの4種目。お兄さんお姉さんが丁寧に優しく教え

幼稚園の同窓会

園長 羽根田 実

幼稚園の同窓会は、毎年11月の最初の土曜日に開催されます。2015年の春に41名が卒園しましたので1968年に設立されて以来、これまでで3036名の幼子たちが巣立っていききました。

同窓会は幼稚園主催というより父母の会が中心となつてご準備くださるのですが、今年は11月7日に開催されました。毎年、小学校



低学年の子どもたちを中心に150名を超える卒園生、そしてお母様たちが集つてくださり、笑顔の絶えない楽しいひとときを皆で過ごしています。

今年も、口々に、「園庭つて、こんなに小さかった?」「わあ、こんなにかわいいイスに座っていたんだ」と幼稚園時代を懐かく思い出しながら、懐かしい友との再会を喜び、しばし園児に戻ったかのように幼稚園での一日を楽しんでいました。園庭が小さく感じたのも、イスがかわいく感じたのも、

それぞれに成長した証ですが、幼稚園時代は、懐かしさと共に一人ひとりの心に輝き続ける思い出として刻まれていました。

幼稚園はこれからも神さまの御守りの中で、生涯にわたつてその人の歩みを支え続ける礎を築く場として、笑顔に溢れ、喜びに満ち、恵み豊かな日々を幼子たちと共に積み重ねて参ります。

弓道部45周年 記念イベント

ご家族参加大歓迎のアットホームな企画を予定しています。少しでも多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

日程・2016年5月14日

又は21日



(次年度予定未定の為、候補日)
第1部「記念射会」記念撮影あり
第2部「パーティ」



※新道場に建替えに向け、木製名札を外しますのでお持ち帰りください。着払いの発送も承ります。

※イベント企画案やご意見もお寄せください。

紫雲会 (OBOG) 連絡先
shun@obin-kyudo.daijip

河野幸雄 (84大経)

※現役学生がこのところ活躍し、2014年は女子が全日本学生弓道王座決定戦で準優勝するなど結果を出しています。

2002年度中学卒同窓会

大塚 究 (05高校)

10月17日(土)に新宿の『Hikari DINING』にて同窓会を開催いたしました。中学を巣立って10年以上の時が流れましたが、今回のように沢山の方が集まる機会はなかなかありませんでした。



ソーシャルメディアなどの連絡手段が発達し、以前と比べて友人との連絡が取りやすくなったことは事実ですが、その一方でインターネットに繋がらない友人とは中々連絡を取らない時代になったと感じていました。そこで今回はE-mail、facebook、LINE、そしてハガキと様々な手段を活用し、合計で200名の卒業生へ案内状を送らせて頂きました。

当日は53名の卒業生だけではなく、6名もの先生方にもご出席いただき、卒業以来初めて会う先生や友人とあつという間の2時間を過ごすことが出来ました。中学や高校の頃と比べると、みんな素敵

な女性、男性になっており「ああ大人になったんだな」と感じました。しかしいざ会話を始めると、当時の思い出が甦ります。何年も間が空いてしまっても、会えば昔と変わらずに接することの出来る友情がある：これはオビリンナーには共通して言えることだと思えます。また、当時担任だった先生が今の私たちより年下だったことを知り、時の流れの速さに驚きを隠せませんでした。

現在はご定年を迎えられた藤野先生、プリンちゃんの愛称で親しまれた柴先生、当時学年主任のマチャコ先生こと鈴木政子先生、担任だった川田先生と鳥居(田崎)先生、中学1年の時に初めて英語を教えてくださったマイク先生。大変お世話になった先生方にもお会いできて、同級生のみんなは本当に喜んでいました。

会の最後には藤野先生がエールを送ってください、みんなで校歌を大声で歌い、同級生という、かけがえない素晴らしい友人に囲まれた会となりました。

家庭の事情や仕事の都合、海外在住など様々な理由で今回参加できなかった同級生もいましたが、参加してくれたみんな、ありがとうございました。また数年後に同窓会を開催します。その時はパパママ率も高くなっているのでは？その時に、元気に再会しましょう。

感謝の誌代



- 100,000円 高橋 幸枝
- 10,000円 匿名希望
- 10,000円 昭和32年度
- 短大英文科家政科同期会
- 2,000円 進藤ゆかり

特別会費御協力について

同窓会規約により、卒業後十年経った同窓生に一口五千円の特別会費のご協力をお願いしております。それにともない「同窓会だより」では納入頂いた方の氏名を掲載しております。特別会費は同窓会運営の大切な財源になっております。未納の方、これから該当される方、皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

特別会費御協力者一覧

- 中道 満 04 高校
- 板垣 貴之 04 大言コミ
- 飯田 絵美 03 高校
- 青木 亘 04 大B M
- 木内 卓 04 高校
- 片岡 由美子 01 大英
- 岩下 昌宏 94 大商
- 水井 園枝 94 短英
- 越馬 進 94 大院
- 谷保 康子 84 大英
- 山中 一伸 84 大商
- 山中 ひとみ 84 大経
- 榎木 隆子 68 短家

訃報

() 内は旧姓

- 新森 百合子 68 短家
- 植松 智子 77 大英
- 大見 慎一 84 短家
- 内山 好子 84 短英
- 関口 圭美 84 大中
- 江島 潤子 84 大院
- 川合 貞義 94 大院
- 榊原 真弓 84 高校
- 鈴木 真司 84 大経
- 中澤 三和子 65 短英
- 黒川 容子 83 大英
- 江口 康久万 77 高校
- 有田 恭助 先生 14 12
- 大平 洋子 先生 13 08
- 守屋 定雄 先生 15 03
- 高垣克(葵) 先生 15 10
- 坂本 礼子(宮崎) 86 短英 14 02
- 中正和佳子(勝田) 68 短英 15 05
- 小川 和男 53 短英 14 07
- 棚澤 保男 70 大中 15 05
- 高沢 英夫 52 短英 14 10
- 柴田久美子(細田) 67 高校 14 06
- 工藤 寛治 70 大英
- 沢口 元代(小泉) 66 短家 09 04
- 河村 正代(小泉) 85 短英
- 上方 麻衣 03 短英 14 09
- 清水 寛 67 高校 15 03
- 海藤志津子(加藤) 74 高校
- 佐藤富喜子(山口) 55 中学
- 小柴 直人 70 大英
- 加藤 敏嘉(栗原) 51 高校
- 保坂 真弓 72 短英 14 06
- 細野 圭治 49 中学 10



- 小久江容子(中野) 64 高校 13 12
- 原 マサ江(小沢) 48 中学 14 12
- 桜井 弘久 80 高校 15 08
- 依田 早苗(鬼木) 83 高校 15 09
- 今福 信 79 高校 15 06
- 松本 恵子 79 大英 14 08
- 澤村 夏夫 51 短英 15 07
- 高橋 洋子 75 大商 15 07
- 横田 優子 94 短英
- 埜 和子(木村) 76 短英 14 12
- 菅野 真子(時田) 69 短英 12 12
- 小川 弘光 60 短英 15 07
- 小出 学 53 短英

「遺贈による寄付制度」

遺言書作成のアドバイスから遺言書の保管、遺言の執行まで信託銀行が一貫して行う遺言信託を利用することにより、桜美林学園への遺贈を希望される方々の思いを円滑に実現することが出来ます。

募金担当(042-797-9977)まで一報くださるか、提携している三井住友信託銀行へ直接ご相談ください。三井住友信託銀行 相続遺言相談デスク 0120-1181-536 詳しくは「桜美林遺贈」で検索。

広げよう

オビリンナーの輪

2015年3月～10月
支部会開催報告



大阪支部



2015.03.28

我々オビリンナーの大好きな桜が、待たせたねと声を上げている新春の3月28日(土)、第6回大阪リ・ユニオンをホテル大阪グランヴィアで盛況のうち開催致しました。

三谷学長より桜美林の現在の活躍ぶりや、沢山の出席者の皆様の青春の凝縮を色々と聞かせていただき、あつという間の3時間でした。福岡からお越しいただいた田村諄子さん、ありがとうございました。山口さん、井戸さん今回はお目にかかれず残念でした。

私たちは何年、何十年経とうが桜美林の一員であり、今後どうすれば母校に貢献していけるかも含めて大阪支部を大きく発展させていきたいと思っております。

副支部長 山田豊幸 (60高校)



大阪に住んで8年目。初めて同窓会に出席致しました。気さくな先輩方と楽しいお話ができ、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。(94大関 高野美幸)

堤先生、角田先生、ご健在でいらっしゃいますか。卒業後、大阪の銀行に就職。40年間勤務できたのも両先生のお陰と感謝しています。桜美林よ永遠なれ!(73大英 安永有喜)

横浜支部



2015.09.05

9月5日(土)、第8回横浜リ・ユニオンをホテル横浜キャメロットジャパんで開催しました。学園からは、大越中高校長、小磯理事、福原地域社会連携室課長の3名が参加され、総勢35名での支部懇親会となりました。

学園の近況を大越校長や小磯理事よりお話しいただき、福原課長からは、来年新設されるグローバル・コミュニケーション学群や駅伝部、弓道部、野球部等の報告がありました。その後、伊東千葉支部長の音頭で乾杯をし、懇親会となりました。今回は初めて出席される方が半数近くいらっしゃいましたが、皆すぐに打ち解けたようで、とても楽しい会となりました。

また、途中、稲垣靖子さん(1953年度高校卒)の娘さんでオペラ歌手の貴子さんがアカペラで1曲歌ってくださいり大変盛り上がりしました。横浜リ・ユニオンは、毎年9月の第一土曜日に開催しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

桜美林学園愛校心を再び！
支部会へのご参加をお願いします。
(83大経 伊東茂治)

高校同期に横浜市民が多くいるので声を掛けます。
(76高校 奥村英明)

来年は大学50周年。私たちがも還暦の年回りに…。
1年1年楽しく過ごしていきたいと思います。
(78大英 及川洋子)



祝 第10回

山梨支部



2015.10.24

山梨支部は、この度 第10回支部懇親会を開催しました。10回を記念して学園同窓会より支部旗を贈呈。発足時より支部長を務められた宮沢支部長(83大商)から長島支部長にバトンタッチし、新たな山梨支部がスタートしました。



山梨リ・ユニオン10回目を迎えて

支部長 長島達也(82大商卒)

桜美林学園同窓会 山梨支部は、2004年5月に甲府市のホテルで発会式を行い、2015年10月に10回目の山梨リ・ユニオンを開催することができました。これもひとえに学園の先生方、同窓会本部役員、県内在住同窓生皆様のご協力のおかげであると感謝いたしております。支部会発会の主旨は「同じ県に住んでいるのだから、年に一度ぐらいは集まって学生時代の思い出話や、近況報告などをしましょう。」ということからです。毎年、皆ほとんど初対面で年齢もバラバラではありますが、同じ学園を卒業したもの同士すぐに打ち解け、あっという間に時間が過ぎてしまいます。皆、その時だけ青春時代を思い出し、懐かしさに現実を忘れてしまいます。また、先生方から現在の学園の様子等をお話しいただき、後輩たちのすばらしい活躍ぶりに感心し、エールを送っております。今後20回、30回を目指し、楽しい山梨リ・ユニオンとしていきたいと思っております。より多くの方々にご参加いただきますようお願い致します。



東北ブロック



2015.09.26

懇親会で上映したDVD「激動の20世紀を生きた三人のクリスチャン」の中から「中国と日本の架け橋 清水安三」先生の生涯の記録を見せていただき、改めて創立者の生きざまに感動致しました。そして、1968年度卒から2011年度卒までの同窓生たちがそれぞれの桜美林時代の思い出を語り合い、本当に懐かしく楽しいひと時を過ごしました。

東日本大震災の時、南三陸町で中学校長をしておられた方から生徒が全員無事であったことを聞きホッと致しました。大震災といえは、震災後まもなく同窓生の本田路津子さんから「ギター一本で伺いたい」という電話があり、その夏1週間被災地を巡り、9回のコンサートが実現。私たちはその美しい歌声に大いに慰められたものです。

今回の東北ブロック同窓会ではもっと多くのオベリンナーにお会いできるのを楽しみにしています。

魚本つる(68大英)



9月26日(土)、仙台ANAホリデイ・インに於いて、第2回東北ブロック同窓会が開催されました。参加された皆様から、様々な経験をした事や貴重な体験をした事等の話に会場が大いに盛り上がり、時の過ぎ行くのを忘れてしまいました。2年前、福島県郡山市で開催された時に、同窓会本部から東北支部創立の話がありました。支部創設には、先ず各県(青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)単位の創立準備委員(仮称)を立ち上げなければなりません。東北の皆様、是非、この趣旨に御同意を頂き行動されます事、切にお願い申し上げます。

大内文一(76大英)

開催案内

千葉リ・ユニオン 2月6日(土)
群馬リ・ユニオン 2月13日(土)

詳細はHPにて



育成功労賞受賞

桜美林高校野球部部长

片桐幸宏先生が

育成功労賞を受賞



育成功労賞を受けて

桜美林高校野球部部长

片桐幸宏(76高)



2014年8月15日の終戦記念日に、甲子園球場において育成功労賞の授賞式がありました。

育成功労賞とは、高校野球の育成と発展に尽くした指導者を表彰するものです。桜美林のユニフォームに袖を通し、久々に聖地甲子園球場に立った時は感無量でした。甲子園で選手としてプレーしたこと、また指導者として指揮を執ったことが走馬燈のように思い出されました。

昭和56年4月大学卒業後母校に戻り、今日に至るまで長い間野球部を指導し続けることができたのも、生徒、保護者、学校・野球関係者、野球部のファンの皆さんのおかげと思っております。心より感謝申し上げます。楽しかったこと、苦しかったことなど、一つ一つが良き思い出として残っております。いろいろな生徒を指導しながら、多くのことを学ぶことができました。野球の技術や戦術は、以前と比べかなり変わり、また道具も毎年進化していきます。同時に選手も変わっていきます。その時の変化を肌で感じ対応していかなければ、なかなか甲子園にはたどり着けないと思っております。教えるのが指導者と思いがちですが、実は生徒から教えられ、学ぶことの方が多いためです。技術が伸びない、あるいは試合が上手くいかないのは、どこか間違っているからです。何が足りないのか、どこが間違っているのか、謙虚な気持ちになって選手の立場に立ち、選手の声に耳を傾け、自ら勉強・研究しなければ解決できません。指導者は、逆に選手から学ぶ機会を与えられているのです。そんな気持ちで私に教えてくれたのが、選手達です。

私は監督を辞めてから4年が経ち、現在部長職ですが、OBの松本君、山崎君がコーチとして監督の工藤君を補佐しております。将来、桜美林のユニフォームが、再び聖地甲子園球場で元氣一杯に走り回る姿を期待しております。

活躍するオベリンナー

山梨県忍野村村長

天野多喜雄さん
72年大学経済卒天野多喜雄さんが2015年8月に忍野村の村長になりました。

天野さんは卒業生として融和による郷里創生を基本理念に、村民一人ひとりが「希望をもって生活できる村」を実現するため取り組んでおられます。また、「教育は未来への投資」、「インフラ整備は村民の生活への投資」、「福祉の充実は老後の生活への投資」だと考え、村民の住みやすい環境づくりに日々邁進しておられます。

歯科医

江口康久万さん
77高卒の横浜で歯科医院を開業する江口康久万さん。

桜美林高校2年の時甲子園優勝を実際見て努力することの素晴らしさを教えてもらい、高校卒業後、鶴見大学に入学、その後当時一番就職の難しかった東京医科歯科大

学歯科矯正学第2講座に入り、開業、学校歯科医として横浜の代表(当時最年少)、全国の代表の11人として日本学校歯科医学会の理事(平均年齢60歳のなかで40代で就任)を勤められました。
現在、横浜市立万騎が原中学校

あかつき税理士法人

荒川勝男(79年大商)さんの診療所には10人弱の先生がおり(矯正、口腔外科、補綴の専門)、桜美林高校の1年後輩の小林多喜美さんもいらつしやるとのこと。

「今回永年挑戦していた歯科保健の日本一に私の担当校が選ばれ文部科学大臣賞を受賞しました。」

環境ジャーナリスト

村田佳壽子さん
1995年大学院(国際学専攻)卒の村田佳壽子さん。

現在は明治大学院環境法センター客員研究員・環境ジャーナリストとして活躍されています。

本年9月27日 朝日新聞朝刊に掲載された「ヨーロッパ最新事情」フランスとイタリアを取材しては村田さんが執筆したものであり、立命館国際フォーラムの「世界に学び、天然ガス自動車を次世代輸送システムの主役に」のタイトルで掲載されました。

詩人

奥村 唯さん
2011年リベラルアーツ学群を卒業した奥村唯さんが学生生活を送る中で日々感じたことをこの春、詩集として文芸社より出版されました。「道しるべ」 文芸社 五〇〇円

税制改正により相続を取り巻く環境が変化している中、これまで相続に無縁と思われていた家庭にも「争続」の火種があちこちで発生しているとのこと。特に、都市部では自宅の不動産と老後の生活資金として蓄えた預金のみでも、相続税が発生する可能性があり、その対策について関心が高まっています。あかつき税理士法人では、個人の相続対策や会社経営者の事業承継対策などで、安心できるパートナーとして活動されています。荒川さんは、相続は、数字に強いただけでなく、人と人とのコミュニケーション能力が重要であり、「争う相続」から「笑顔の相続」にすることが大切であるとおっしゃっています。

★今号より始まりました「活躍するオベリンナー」では、卒業生皆様のお便りをお待ちしております。
この度の平成27年9月、関東・東北豪雨により被災された方々、またそのご家族の方々に心よりお見舞いを申し上げます。甚大な被害を受けた地域の一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

ひ

ろ

ば

進藤 ゆかり 87短英

(Quincy U.S.A.)

桜美林大学の皆様こんにちは。
6月29日に学園見学を、娘と弟三人でさせていただいた進藤です。
日本でもとても暑い夏を過ごされているとニュースで度々聞いております。その度は、お忙しい中、いろいろとお世話になりました。お蔭様で、私はなつかしい短大時代の思い出と、全く別になって成長されている学園の姿と重ね、卒業以来28年ぶりで初めての訪問となりました。

娘のエリカは、5月でこちらアメリカ、イリノイ州の高校を卒業し、8月17日から地元の大学に通うのでこれもちょうどいい、日本の大学見学となりました。
定期的に、秋田の実家へ届く「オベリンナー」やり・ユニオン、同窓会だよりはありがたくも、両親がわざわざアメリカまで送ってくれたり、私達が日本へ帰省する時には、ちゃんと保管しておいてくれるため、欠かさず拝見しております。ですので、桜美林の成長ぶりを、遠くながらもなつかしく楽しみにしております。ですが、実際にこの目で見ることで、チャペルはとて素敵でした。桜カフェでは、3人でゆっくりとボリ

ューム満点でおいしい食事を取りながら、当大学生の日常を見ることもでき、桜ケーキが最高でした。

また、急ではありましたが、突然の訪問依頼を快く受け入れてくださった羽根田園長にも、立ち寄った同窓会事務所の親切でやさしい対応も含め、とにかく大切な体験をさせていただきありがとうございました。

日本人の少ないクインシー州に住んでいます。桜美林短大出身の友人に、CO-OPで買った桜美林グッズを見せながら、これからも桜美林を応援していきたいと思っています。
ありがとうございました。

吉木 辰夫 61高校

(佐賀県唐津市)

桜美林に初めてまいりましたのは、雪の深い朝の事でした。長崎県立からの編入生。大丈夫かなと思いつつ編入試験を受けました。先頃白寿99才で亡くなった父と一緒にまいりました。何とか編入試験を終え2年E組進学クラスに入学させて頂きました。横浜市立大学の医学部を望んだのですが、まったくの不勉強で無理でした。浪人のつもりが某自動車KKに入社し卒業しずっと飛びます

が、高校野球優勝を佐賀でテレビ体験しました。

またガンバッテコウシエンにイッテ下さい。

砂原 奈美子 89高校

(東京都御蔵島村)

大変ご無沙汰いたしております。同窓会報いつもありがとうございます。当方、町田の実家から同じ都内ではありますが伊豆七島の御蔵島村に越して8月で早3年となります。

去年は、LAに勉強へ行つたところ、なんと桜美林高の2年後輩が同じクラスに居り、改めて楽しかった高校での思い出と桜美林の縁を思い、温かい気持ちとなりました。黒潮の海流の中の島から、安三先生はじめ、個性のある先生方を思い出しています。

薫田 直毅 79大英

(静岡県浜松市)

『同窓会だより』を有難うございました。本号に載っていませんでしたので、先日いのちのことは社から「キリスト教的新発見!」目からうるこシリーズ第六弾」としてDVD『激動の20世紀を生きた三人のクリスチャン』(税込4,104円)が出ました。清水

安三先生が、杉原千畝、田内千鶴子と共に取り上げられていますので、卒業生の方々に是非ご紹介下

さい。上記は個人観賞用で、他に団体鑑賞用もあるようです。

同窓会(リ・ユニオン)は、名古屋で講師に招かれており残念ですが出席叶いません。

小山 昌子 72短英

(長野県北安曇野郡)

北陸新幹線が通り今や自分までが携帯電話でメールする現代、若かりし頃の大学生活が貧しくも楽しく勉学に励み、アルバイトで寮費を稼ぎ、各駅停車の電車で町田から新宿そして松本まで長い時間かけ実家に帰るのが楽しかった思い出が日々よみがえってきます。
同級生は今どうしているかしら?

上野 春見 67短英

(新潟県上越市)

川村先生の「創立時代の桜美林と私」を読みました。荒れた寮寮の教員宿舎は容易に想像がつかまず。なぜなら、私はのぞみさんと同じ昭和22年生まれ、在園時代は復活寮で生活したからです。窓ガラスや畳は有ったものの厳しい状況下でありましたが、同じ棟に大英、短英、短家と横のつながりがあって自由な雰囲気がいよいよ出です。

「…一頭の山羊をつれて登校し…」の件には笑ってしまいました。私も山羊の乳で育ったからです。先生は桜美林教会の木村牧師を

もお育てになりすばらしい教育者でいらしたと思います。

中山 克枝 78短英

(神奈川県藤沢市)

川村先生のご逝去本当に残念です。亡くなられた翌日、御自宅に伺いました。告別式に伺えなくて。とてもやすらかでした。結婚式にいらしていただき、スピーチの声又、先生のスピーチの言葉忘れません。

ご冥福お祈りします。102才、大往生でした。先生ありがとうございました。

宮澤 益子 66短英

(愛知県名古屋)

前略 私1966年短大英文科を卒業しました。宮澤益子です。

一月下旬、アメリカから帰国しました。

在米中は北米同窓会の中村衣里さんに大変お世話になりました。

私はシカゴで孫の世話に忙しくて居りましたのでお会いする事はありませんでしたが、emailやお便りなどいろいろ桜美林のニュースを頂き大変感謝しています。私が学んだ頃とは大発展の学園に成長して、知る度に胸わくわくしています。増々愛される学び場となります事、祈っています。

敬具

昭和48年 高校G・H組同窓会

石坂 美佐 (73高校)

2015年7月19日の日曜日、昭和48年度卒業のG・H組を中心に同窓会が開催されました。

卒業して42年目の私たちは今年還暦を迎え、これを機に実に10年ぶりの開催でした。



会場は私たちが共に学んだ母校の高貞館の桜カフェでしたが、卒業してからかなりの年月が経っているので学内も様変わりして

たどりに着くのがちよつと大変でした。

Hクラス担任だった武内先生も出席してくださり、変わらぬ笑顔にお会い出来て大変嬉しく思いました。

皆、高校時代の面影に42年間の人生が加わりとても素敵に歳を重ねていて、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そろそろ仕事から解放されて自分の為に時間を使える年齢になるので、次回は2、3年後に再会しましょうと約束をして解散になりました。

53年ぶりの 同窓生との再会

岩井 清治 (61短英)

さる6月27日開催のリ・ユニオンに61年度短大英文科卒の6名が参加しました。実に53年ぶりの再会、卒業以来初めてという人が多く、いろいろな驚きや発見がありました。まず淵野辺駅に集合して、懐かしい再会、感激の喜びに浸ったあと、卒業以来はじめての人は駅周辺の変容振りや、頻繁に行き来する学園スクールバスの台数の多さにまた学園までの町並みの変わり方に驚嘆していました。当時スクールバスが無いどころか、淵野辺駅からの現在の道路も途中ま



で、境川の橋は仮橋、それまでは50メートルも下流の橋を遠回りして通学していたのでその変わりようにびっくり!!は、当然だったかもしれません。そして、学園に到着。かつてのチャペルとその隣の旧明々館しか知らない同窓生の目には、いま林立する建物群はまさに別世界のように写ったようでした。会場までは、案内の人がいなければ迷子になる、と言うほど、学園の発展の姿に圧倒されていました。

当日の会では、当時教えを受けた郡山直先生や杉崎和子先生にも再会、会の進行をさまたげてしまうほどお互いの昔話に熱中してしまいました。そしてその中で改めて感じられたことは、当時暖房もそろっていない古びた木造校舎での教育環境でありながら、先生方

から例外なく注ぎこまれた海外への熱いまなざしがその後の卒業生一人一人に確実に生きて実現していたという事でした。短大英文科の卒業と同時に国際電話交換士としての職を得、その後長年ハワイに滞在、異文化での生活に深く染まった人、また英文学の授業での

刺激からイングリッドの虜となり20回に及ぶ現地での留学体験者、さらに当時もすでに難関であった交通公社(現JTB)に就職し国際観光の業務に長年従事した人、外国の在日大使館勤務を経てロシア滞在を中心に世界各国での外交官生活を長く経験されてきた人等、わずかに6名の小さな集まりのなかにさえ、これだけ多くの国際性豊かな人生経験が語られたのです。当日は体調の都合で急遽参加取りやめとなったハワイ在住の卒業生も世界各国での海外生活の経験を継続しています。国際性を育むという桜美林の伝統的精神がはつきりと生きていることを深く感じた次第です。

昭和32年度 短大 英文科・家政科同期会

川合貞義 (94大院)

昭和三十二年(一九五七年度)卒業の英文科家政科合同同級会を、本年九月二十七、八日、一泊

二日で桜美林学園伊豆高原クラブで開催しました。

両日共好天候に恵まれ、中秋の秋に相応しい満天の空でした。光輝く星に囲まれた名月を眺めながら(誘われながら?)ペランダに出て声高らかに童謡等を合唱し、思う存分夜を楽しみました。

次の日ケーブルカーで大室山頂に行き、老体にムチを打って全員で火口を一廻りをし、美術館を見学し、昼めし後解散しました。

五十七年ぶりに再会した方もあり、昔の懐かしい話、健康の話等々話題の尽きない二日間でした。

これからこの時期に毎年逢いましょうという事になりました。皆さんに通知を出す事になりました。出席可能ならうちに連絡があったら皆で又語らしましょう。



高等学校ラグビー部

OB会

栗山 東也^{オトナリ} (70高校)

【第5回総会と在校生徒との
交流会報告】

2015年7月12日(日)の午前中は朝9時桜グラウンド、人工芝での合同練習及び、午後は桜美林大学崇貞館6階会議室にてOB会総会が開催されました。



OB会も今年で第5回目の総会を迎えることが出来ましたことは、偏にOB会員の皆様のご支援ご協力のお蔭だと感謝しております。

午前中は在校生徒とOBとの交流を行いました。

在校生は1年生12名2年生6名3年生5名マネージャー3名計26名が、毎日、頑張つて練習を行っています。

交流会ではOBの方が、事前に計画したカリキュラムより詳細に練習を行い、OBの方から指導を受け、汗だくになりながら真剣に練習を行い、最後は在校の試合メンバーとその他のメンバーとOB合同チームで10分間2回試合を行い、その後反省点等を確認して楽しく少し苦しい練習を行いました。今回、初めて父母の方が、練習の見学に來られました。最後全員で写真撮影を行い怪我人もなく終わりました。

OBの方は、午後からの総会に参加されました。

総会では平成26年度活動報告や収支決算報告後各議事案事項については承認をいただきました。また、その他の事項では、桜美林高校ラグビー部選手名鑑の件が提案され今年度中に作成することも併せて承認されました。

これからのラグビー部が指導者・生徒・OB会が一丸となって絆を深めていきたいと思ひます。

高校ESSOB会

in尾瀬

伊藤 雅巳 (75高校)

9月26日、27日、群馬県尾瀬・片品村の「弘化の庄・かしや」へ1泊2日の高校ESSのOB会に出掛けました。

最初にESSの合宿で「かしや」さんにお世話になったのは、今から41年前、私が高校2年生だった1974年の夏。先代のご主人や女将さんが心温まるおもてなしで迎えて下さったのを今でも鮮明に覚えています。



以後二十数年間、後輩たちが毎夏「かしや」さんのお付き合いを大切に継続してくれて、また、「かしや」さんに嫁がれた現女将の眞理呼さんが桜美林高校の先輩

だったという縁にも恵まれて、一層「かしや」さんとの関係が深まりました。

久しぶりに大広間にある囲炉裏を囲み藤野先生と共に語り合ったひと時は、長い年月を経て今は一入ひとり違う道を歩んでいても、礎となるものはここにあると改めて感じさせてくれるものでした。

この「かしや」さんとの繋がりを高校時代の良き思い出と共に、これからも大切に行きたいと思ひます。そしてまた次回、自然豊かな片品村の「かしや」さんで、顧問の藤野先生を囲んでESSの仲間が集う日を楽しみにしています。

大学陸上部

箱根駅伝予選会

10月17日(土)朝から雨模様の立川市。スタート1時間半前の立川駅は出場各校の職がはためき、待ち合わせの同窓生や応援の学生でごった返していました。

駅からスタート地点の立川駐屯地までは徒歩で向かいます。

スタート前は各校の賑やかな応援合戦。吹奏楽もチアのメンバーもずぶ濡れになりながらの応援です。

桜美林応援団とコースをはさんで対峙する佐藤理事長、佐藤同窓会長をはじめとする卒業生や父兄も声を合わせて校歌を歌いました。

スタート直前は、たくさんの方がいるにもかかわらず静寂のひととき。9時35分スタートの合図とともにランナーの必勝を願ひ一斉に応援が再開されました。

立川駐屯地から市内に出てゆく選手を見送り、観衆はゴール地点の昭和記念公園へ移動。公園内で選手の到着を待ちました。先頭通過からかなりの選手が走り抜けた後、桜美林のユニホームがみえた時はほっとしました。

予選会の結果は昨年より11分21秒の更新を見るも、主力選手の欠場もありチーム成績は30位でした。創部2年目、選手は1年生2年生のみ。今年は創部5年目の他大学が予選会を通過しました。桜美林の後輩たちもいろいろな経験を積み、かならず新春の箱根を走ってもらいたいと思ひました。



清水安三先生論説

日曜学校教師の 遭遇せる実際的問題

(日曜学校 教会学校)

「基督教世界」 大正7年(1918年) 9月26日

(1) 日曜学校の目的に対する尊厳なる態度
日曜学校の目的の一つは、生徒の父兄に接触の機を得て、其の家庭を導くにある。何たる不見識なる目的であろう。生徒を熱心に指導するの余勢おのずから溢れて、其



1922年(大正11年)
北京日本人教会にて



「われは道なり 真理なり 生命なり」

(ヨハネ伝 14章6節)

清水安三先生愛唱聖句

の家庭に福音の種がまかるのならば、それは敢えて私のひんしゆくする処ではない。只初めから家庭伝道を意識して生徒を利用する心持には全然共鳴することも首肯することもできないのである。

又日曜学校の目的の一つは、教会の青年男女の信者をして教会のために働かしむるための最初の階段であると。教会員の訓練(チヨートレーニング)は牧師に取ってはかなり大きい問題であろう。けれども日曜学校事業はこの問題と別問題であらねばならぬ。

其の他日曜学校は何故大切な事業であるかということを高張するために、説かるる副産の結果に眼をそそぐことは飽くまで止めねばならない。そうして日曜学校は児童其の他の人格を尊重し、これが宗教教育にあつて他なきことを知らねばならない。

(2) 教授と話し方

面白い話で生徒を集めようとする教師の努力は、近來漸く著しく見ゆるに至つた。けれども面白いという段になると、日曜学校のお囃(はな)は活動写真に及ばないこと、あたかも牧師の講壇が浪花節に競走できないと同様である。又生徒を笑わせ喜ばせて、顔を曲げ目をむき手を挙げ足を踊らせて、日曜学校は面白いと言わせたいならば、むしろ牧師は顔を紅にて彩り、赤禪の真つ裸で講壇の上で逆立ちをすれば生徒も笑えば拍手も聞えよう。

しかし教授法と話し方は上手下手にないのである。要するに教師の信仰ある冒(お)かし難い人格によって価値が定まるのである。沈黙の人可なり、吃音(ドモリ)の人更に良し、口重き人大いに妙なり、この点においては成人に

対してよりも更に一層顧慮せねばならぬ。成人は神学生の説教を聞いても、理解の後に良くその朴素一寒生の焰の信を味わうことが難しくはない。けれども児童は何となく重い何となく強い何となく高い人格がポツリポツリ溢るる言葉を其の身に生涯忘れ得ないものとするのである。

面白い囃(はな)には飽きる。笑うた後は鳥を手から放したようにぽかんとする。日曜学校は少くとも笑わすよりも思わしめ、喜ばしめるよりも教師になつかしめ、面白いから行くというよりも行かねば神様にすまぬ心持を味はしめたい。

(3) 一人から多数にせよ。

どこの日曜学校も多くは五十名の生徒という数は依然三年間同じように表れておつても、その内容たる生徒の顔は殆ど變つてゐる。恰も氷れる河の底が、表面の氷がかわらないけれども河の水は常に流れてゐると同じである。これでは心細く思われないわけには行かない。

私は日曜学校を根本的に改造するため、信者の児童の二三を集めて、小さい群の児童礼拝を爲し、真に教師と一つになつて共に祈り、共に願ひ、礼拝の気分が滲(しみ)い、敬虔なる靈気が充滿するに至つて、今一二名を之に加え、三名四名と加へ行く時に、真に宗教気分を味わしめ、神に接する心持を児童の脳裏に浸込ましむるを得るのである。

現今の日曜学校は生徒の多きを望んで、新來者を歓迎するために、祈祷の最中に欠伸あり、喧嘩あり、ざあざあして居る。児童には神を説くよりも、神学を教えるよりも、神に対する敬虔なる態度を以心伝心

抱かしむべきである。試みに生徒が天長節(天皇誕生日)の式にあつて御真影(天皇の写真)拝賀の際に、奉持する態度以上に、「神よ」と祈る願ひ和して厳肅になるかと調べてほしいのである。

私は生徒をここまで訓練するためには、教師の精神的準備と、生徒の増加を防いで百年大を爲すの勢い以つて、日曜学校を拡大すべきである。之が為には会堂の構造にもよろうが、それはまさに精神的準備ある教師と訓練ある生徒は荒屋の如き会堂をも神の住む宮殿と爲し得ると信じる。

(4) 何を教え何を話すべきか。

日曜学校ではかなり多くの迷信が話される。旧約時代の宗教が教えられる。これはなるべく止めたいと思ふ。例えばダビデを助けてゴリアテを助け給わなかつたという問題と世間の事実実際とは一致せぬことが多い。私はこういう問題は取扱いたくない。

誰かが「ドイツのカイゼルを一日も早く殺して下さい」と日曜学校で祈つたという。私はこういう問題には囚われずして、むしろ「神様戦争が早く止まる様にして下さい」と祈つてほしいのである。

日曜学校は小学校の教える倫理道德修身美談を教えることも必要である。

けれども一週僅か一時間に何を教えねばならぬのかを考えて、重大なる一時間たるを認めねばならぬ。故に何を教え何を話さすべきである。

なんじの若き日に

汝の造物主を覚えよ

DVD「激動の20世紀を生きた
三人のクリスチャン」のご紹介

ライフ・クリエイション（いのちのことば社）より、「目からうろこ」シリーズ Vol.6 として清水安三先生を取り上げています。ご紹介させていただきます。同窓会では、2015年のリ・ユニオンの折に参加者の方々に、見ていただきました。動いている先生、お話をしている先生を懐かしく思い出し、多くの方が感動しておられました。ご購入希望の方は下記までお問い合わせください。

申し込み先…株式会社ナルド
〒194-10294
東京都町田市常盤町3758
TEL…042-1797-1994
FAX…042-1797-2046



100周年資料集めに
ご協力お願い

同窓会では、来年の95周年・2021年の100周年に向けて、学園に関係のあつた皆様方より、学園に関係のある写真・資料をお預かりさせていただけないかと考えております。バラバラの資料を、この期に集約しておきたいという希望を持っております。また、100周年までに、形のあるものにできたらとも思っております。ぜひともご協力のほどお願いいたします。

連絡先…桜美林学園同窓会事務局
〒194-10294
東京都町田市常盤町3758
TEL…042-1797-1632

「同窓会だより」読者のみなさまへ

*転居などのご連絡は同窓会事務局へ、ご連絡ください。

現在、短大・大学・大学院卒業の皆様には、大学広報より「オビリンナー」が年に3回送られています。同窓会だよりは、発行先が異なりますので配達先変更の場合は、同窓会事務局までお知らせください。尚、同窓会では、ホームページ上でも住所などの変更ができます。

連絡先：桜美林学園同窓会事務局
〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
☎(042) 797-1632
http://www.obirin.jp/alumni/



石川 喜代子 72大英

(東京都調布市)
同窓会だよりをいつもありがとうございます。数年前主人(卒業生)とチャペルにうかがった時すばらしく変っていたので感動でした。私達のころは木造の長イスがならんでいてそれなりにもむきがありました。

亀田 雅美 78大中

(東京都町田市)
5年前から孔子学院で二胡を習っています。今年も春節では舞台で演奏をし、それなりに曲も弾ける様になりました。また、今年からは昔に立ち返って、初心を思い出し中国語を始めようと思っております。

渡辺 雅人 78大経

(新潟県新潟市)
先日(3月28日)所用があり、上京した際ついでに30数年ぶりに桜美林学園を訪ねました。土曜日だったせいもあり、学生の姿はほとんど見られず、不審者扱いされなにか少し心配でしたが、学園内をゆっくり見学させていただきました。

当時の面影は体育館と図書館周辺の建物だけで、現在の桜美林学園の発展ぶりには目を見張るものがありました。今後桜美林学園の増々の発展を新潟の片田舎からお祈り申し上げます。

石川 幸夫 73大経

(東京都調布市)
伊豆高原クラブ便りをみるたびにギター部(1973年ごろ)の皆で行った事を思い出し、退職した今、ぜひまた同じギター部だった妻と行きたいと思っております。

渡辺 美彦 60短英

(横浜市港北区)
短大英文科を卒業して半世紀が過ぎました。「同窓会だより」等が届けられると、2年間でしたが、当時の青春時代が懐かしく思い出されます。故、大野一男先生が担任でした。入学当日には、皆の名前を覚えておられたのにはおどろきました。

桜美林のますますの発展をお祈り致します。



新しいスクールバスが納車されて、9月24日(木)に奉献式が執り行われました。

伊豆高原クラブ便り

伊豆の春は桜で始まります。

二月上旬から咲き始める、濃いめのピンクが可愛らしい河津桜は、全国的に有名になり多くの方が訪れています。

伊豆高原駅に駐車し、伊豆急のご利用をお勧めします。



三月中旬に見ごろとなる伊豆高原駅前の大寒桜は、早咲きの大島桜と寒桜の交配で生まれましたと言われ、桜の開花に合わせて伊豆高原さくら祭りの第一ステージが始まります。その後、桜並木と桜のトンネルのソメイヨシノは、三月末〜四月の一週目あたりに満開となります。



四月十日前後には大室山周辺のソメイヨシノが満開を迎えます。



さくらの里では、その後も八重桜や枝垂桜の開花が続き、四月末まで桜を楽しむ事ができます。※気温により開花時期が変わりますのでお問合せ下さい。



広い客室からは、高原一帯と相模湾に浮かぶ伊豆諸島が見渡せます。

ベッド+和室10畳(定員7名) 12室
和室10畳+リビング(定員5名) 2室
ベット同伴部屋(定員4名) 1室

同窓会特典つきプラン

【お値段そのまま特典つき】

- 一、ご案内通知の作成・郵送
- 二、出欠の受付・名簿の作成
- 三、伊豆高原駅から無料送迎
- 四、ご夕食に乾杯ビール付き
- 五、記念写真プレゼント

(10名様以上、70名様まで)

※70名様以上の場合は立食形式となります。宿泊可能人数103名
通常料金で右記のサービスの含むお得なプランです。団体様は半年前からご予約承ります。

(ご案内ハガキ100枚まで無料)

伊豆高原クラブ宿泊料金

○大人(中学生以上・平日)

1泊2食: 9000円

夕食のみ: 8000円

朝食のみ: 7500円

素泊り: 6500円

○学生(中学〜大学生・平日)

1泊2食: 8000円

(消費税込・別途入湯税150円)

週末・祝前日・ハイシーズン

料金についてはホームページ

もしくはフロントまで。

※桜美林学園の学生・生徒には

1泊につき3000円の補助

が出ます。(ゼミ以外も可)

卒業生特別割引

卒業生様への割引がございますのでご予約時にお申し出ください。

TEL: 0557-5114846

E-mail: club@obirin.ac.jp

http://www.obirin.jp/izuelub

2015 桜美林クリスマス行事(すべて入場無料)

クリスマス・ハンドベルCherry'sコンサート

11月22日(日) 14時30分〜16時00分 於 荊冠堂

クリスマス・イルミネーション点灯式

11月24日(火) 16時10分〜17時15分 於 荊冠堂

桜美林大学クワイヤーコンサート

12月12日(土) 18時00分〜20時30分 於 PFC

オペリン・クリスマス

12月19日(土) 16時00分〜18時30分 於 荊冠堂

桜美林中高吹奏楽部コンサート

12月20日(日) 12時30分〜14時00分 於 荊冠堂

桜美林中高ハンドベル部コンサート

12月21日(月) 16時00分〜17時00分 於 PFC

クリスマスイヴ礼拝

12月24日(木) 18時30分〜20時30分 於 桜美林教会

編集後記

▼同窓会だより194号をお届けします。今回も16頁立になりました。

▼先号の編集後記で川村先生が亡くなられた記事の中「これで桜美林学園草創期、清水安三先生ご夫妻をお助けしていた先生方は全員天上の人になられたことになりました。」と書きましたところ、「まだお元気な方がおられるよ」とお叱りを受けました。私のつもりでは「生涯に亘っておそば近くお仕えした先生方」を指し、早くお辞めになられた方のことは考えていません

事務局より

12月25日(金)より

2016年1月6日(水)迄

お休み致します。

元旦礼拝

2016年1月1日(金)

午前11時〜12時

桜美林教会(復活の丘)

